



有限責任中間法人

日本小児歯科学会
Japanese Society of Pediatric Dentistry

近畿地方会会報



平成23年 9月22日発行 No.10



60歳てまえに考えてみると

近畿地方会副会長

佐伯 克彦

3.11 東日本大震災でお亡くなりになられた多くの方々のご冥福をお祈り致しますのと、そのご家族やご親戚の皆様に御悔み申し上げます。半年を過ぎてもなお不自由な生活を強いられておられる皆様に思いを馳せるとともに、支えている皆様のご努力に敬意を表します。私も近畿地方会会員の皆様と同様に今後ともご支援したいと思っています。

近年世界的な激動の時代を迎えています。天変地異や気候変動で大災害が起きるだけでなく、いたるところで戦争やテロが起こり、世界経済の極々一部でしかないギリシャの経済不況がヨーロッパ全体の経済不況に広がり、「リーマンブラザーズ」という一企業の失策が世界同時不況に発展するなど、異常な状況が続いており、あきらかに今までの政治経済や様々のシステムが通用しなくなり欠陥が露呈しております。

振り返って我々の歯科事情をみると、現役世代はコンビニよりも多いと言われる歯科医院の数に日々の生活に精一杯の状態です。次世代の若者はというと、歯科大学では定員の大幅削減、大学在学中に CBT や OSCE があり、卒業後も歯科医師国家試験、それも合格率を国が決定、歯科大学を卒業しても歯科医療につけない人が発生する状況です。難問、奇問に対応し、地雷問題も嗅ぎわけ上手に処置しなければなりませんので、教育者側も本人も大学生活6年間の多くの時間をその勉強に割くのはいたしかたありません。しかしその弊害として本来歯科医療で必要なことをすべて習得することが困難になったと思います。

現役世代は現状の問題点を解決することに努力するのは当然ですが、次世代を継ぐ若者世代の成長をサポートできる唯一の立場であり、責任もあります。望まれる歯科医療とは何か、正しい知識、技術と、患者様とどう関わっていくかも身につけ、小児歯科を担当する者には子供達の成育支援に思いをよせ、診療行為だけでなく子育てにも寄り添い関わっていく事ができるようになれば最高です。



小児歯科医としての40年を振り返って

大阪大学大学院歯学研究科 小児歯科学教室 教授

大嶋 隆

この10月で、大阪大学歯学部小児歯科に足を踏み入れてから40年になります。臨床実習中の大学6年の夏休み明けに、同級生の増田典男先生から、『小児歯科で実験動物にう蝕を誘発させる研究が始まる。いっしょにやらないか』とのお誘いを受けました。大学は論文を書いて卒業するところと思っていたのに、歯学部では卒業論文なしで卒業できると分かって、何か論文を書いてから辞めたいと思っていましたので、気楽にその話に乗りました。当時小児歯科は教授のいない歯学部附属病院の一診療室で、室長は祖父江鎮雄先生が勤めておられました。ただ、室員は祖父江先生、大学院生の鈴木俊行先生、それに下野 勉先生のわずか3名で、口腔治療科の西田百代先生が週に2日ほど、研究生の山本順子先生が週1日、診療に来られていました。

卒業して小児歯科に入局した途端、200名を超える患者を一度に担当され、朝9時から午後3時まで、くる日もくる日も、う蝕治療、それもほとんどが断髄と乳歯冠装着に明け暮れていました。う蝕研究がきっかけで小児歯科に入局しましたので、1年目から学会発表はしていましたが、小児歯科学会での発表は翌年の岐阜歯科大学が最初で、私の発表は初日の最初の口演で、広いメイン会場に、関係者以外は誰もいなかったのを覚えています。

小児歯科医としての転機となったのは、アメリカ留学中に、祖父江先生から、帰国後は医局長になってもらうからとの手紙を受け取ったことにあると思います。これまでう蝕の論文や本しか読んだことが無かったものですから、初めて小児歯科の本や論文を読み始めました。ただアメリカで小児歯科の勉強を始めたため、私の知識はアメリカの小児歯科の本から吸収したもので、日本の小児歯科の先生がよく使われる Hellman の咬合発育段階が何のことか、初めは理解できませんでした。

この医局長を務めた数年間に、阪大小児歯科の現診療システムのほとんどを谷口 学先生と創り上げましたし、研究面でも実験動物を用いたう蝕誘発系を泉谷 明先生とともに確立しました。これらは、小児歯科あるいは臨床う蝕の研究者として働く基盤を与えてくれただけでなく、う蝕以外の歯科疾患に対する研究を促すきっかけともなりました。特に家族性低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病における研究は、小児歯科臨床でしばしば見られる歯の形成異常に目を向けさせてくれただけでなく、全身疾患と歯科疾患との関連性について、深く考える機会を与えてくれたと思います。

この40年間に私のかかわった研究のほとんどが小児歯科疾患の予防に役立ったと思っています。今、仲野和彦先生を中心に、う蝕と全身疾患との関連を明らかにしようとしています。う蝕予防が単に歯の硬組織の破壊防止だけでなく、全身疾患の予防という面からも役立つと認識される日のくることを期待しております。

第30回日本小児歯科学会近畿地方会記念大会のご案内

平成23年 9月25日

会 員 各 位

大会長 大嶋 隆

秋冷の候、会員の先生方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと推察いたします。第30回近畿地方会大会記念大会の詳細が決定いたしましたので、ご案内させていただきます。本年度の地方会大会は、近畿地方会創設30周年の記念大会です。多数の会員の皆様にご参加いただき、活発な討議をお願いしたいと思っております。また、記念式典や懇親会にも是非ご参加いただき、会員間の親睦を深めていただきたいと思います。

日 時：平成23年10月30日（日）午前9時～午後5時

場 所：大阪大学中之島センター

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 電話 06-6444-2100

<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

大会内容

- 1) 総 会
- 2) 特別講演 鷺田 清一 先生（大阪大学前総長）
- 3) 教育講演 「小児歯科領域におけるCTの利用」
村上 秀明 先生（大阪大学大学院歯学研究科准教授）
- 4) 一般講演
 - (1) 口頭発表 (2) 展示発表 (3) 専門医・認定医更新展示発表
- 5) 歯科衛生士研修セミナー
「最良のオーラルケア製品を求めて～未来ある子どもたちのために～」
 1. 小児の齲蝕予防について
高塚 勉 先生（サンスター株式会社 研究開発部）
 2. オーラルパーソナルケアにおける歯磨剤の機能について
山本 幸夫 先生（ライオン株式会社研究開発本部オーラルケア研究所）
 3. フッ化物配合歯磨剤の研究開発と有効利用
山岸 敦 先生（花王(株)HHC パーソナルヘルスケア研究所）
- 6) 30周年記念式典
- 7) 懇親会

プログラム詳細は <http://square.umin.ac.jp/jspd/> をご参照ください。

参加登録費

歯科医師：5,000円 コ・デンタルスタッフ他：2,000円 学生：無料

懇親会費：1,000円（それぞれ当日受付にて）

お問い合わせ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室内
第30回日本小児歯科学会近畿地方会記念大会事務局

準備委員長 仲野 和彦

電話：06-6879-2963 FAX：06-6879-2965 E-mail: nakano@dent.osaka-u.ac.jp

平成22年度 近畿地方会 会計報告

有限責任中間法人 日本小児歯科学会 近畿地方会 一般会計

収 入		
本学会からの援助金	¥814,000	
第28回近畿地方会大会 援助金残金	¥ 0	
預金利息	¥ 40	
合 計①	¥814,040	

支 出		
通信会議費	¥ 22,970	
第29回近畿地方会大会援助金+振込手数料	¥500,210 (¥500,000 + ¥210)	
ニュースレター9号経費 +振込手数料	¥157,710 (¥157,500 + ¥210)	
施設使用料 (大阪歯科大学)	¥133,150	
合 計②	¥814,040	

本会への返却		
合計①-合計②	¥ 0	

通信会議費 詳細		
幹事会 (平成21年6月10日)	¥ 2,750	
幹事会 (平成21年9月9日)	¥ 2,450	
幹事会 (平成22年3月10日)	¥ 2,450	
葬祭費 (弔電etc.)	¥14,920	
駐車場費	¥ 400	
合 計	¥22,970	

小児歯科学会 近畿地方会 特別会計

収 入		
普通預金	¥2,011,046	
スーパー定期	¥ 500,000	
預金利息	¥1,261+502	
合 計	¥2,512,809	

支 出		
なし	¥ 0	

繰 越		
普通預金	¥2,012,809	
スーパー定期	¥ 500,000	
合 計	¥2,512,809	

府 県 別 会 員 数 (H23年9月13日現在)

	正会員	歯科衛生士会員	名誉会員	会員数合計	専門医指導医	専門医(指導医含む)	認定医	認定歯科衛生士
滋 賀 県	29	1	0	30	1	10	2	0
京 都 府	69	0	0	69	1	15	1	3
奈 良 県	29	4	0	33	0	7	3	3
和 歌 山 県	14	0	0	14	0	6	2	0
大 阪 府	294	34	1	329	14	92	14	18
兵 庫 県	136	13	2	151	3	44	7	6
合 計	571	52	3	626	19	174	29	30
全 国	4155	232	29	4416	177	1244	174	95

平成23年度 近畿地方会 予算 (案)

有限責任中間法人 日本小児歯科学会 近畿地方会 一般会計

収 入		
本学会からの援助金		¥824,500
第29回近畿地方会大会 援助金残金		¥ 0
預金利息		¥ 50
合 計①		¥824,550
支 出		
通信会議費	¥ 6,050	
第30回近畿地方会大会援助金+振込手数料	¥700,000	
ニュースレター10号経費 +振込手数料	¥118,500	
合 計②	¥824,550	

小児歯科学会 近畿地方会 特別会計

収 入		
普通預金		¥2,012,809
スーパー定期		¥ 500,000
預金利息		¥ 1,500
合 計①		¥2,514,309
支 出		
通信会議費	¥ 21,000	
ニュースレター10号経費+振込手数料	¥ 39,000	
合 計②	¥ 60,000	

*残金は来年度へ繰り越し

近畿地方会30周年記念誌の寄書きの募集

この度、第30回記念大会に際して記念誌を発刊することになりました。
そこで、近畿地方会会員の皆様には下記の要領にて寄書きを募集させていただきますので、
多数お寄せ頂きますようお願い致します。

記

1. 募集期間：平成23年11月1日（火）～12月10日（土）
2. 募集要領：① 題 名（タイトル）
② 所 属
③ 氏 名
④ 内 容：400字以内
3. 募 集 先：メール kato@cc.osaka-dent.ac.jp まで
大阪歯科大学小児歯科学講座 嘉藤 幹夫
(作成の都合上、必ずメールにて応募ください。)

平成23年度 日本小児歯科学会のご案内

第49回日本小児歯科学会大会

会 期：2011年11月28日（月）、29日（火）

会 場：いわて県民情報交流センター（愛称アイーナ）

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1（盛岡駅より徒歩約3分）

TEL：019-606-1717 FAX：019-606-1716

大 会 長：田中 光郎（岩手医科大学歯学部小児歯科学分野教授）

準備委員長：齋藤 亮（同講師）

宿題報告：哺乳齲蝕の再考察 藤原 卓（長崎大学大学院教授）

特別講演：1）患者の意識・行動から分かる小児歯科の付加価値

林 倫照（株式会社野村総合研究所）

2）米国小児歯科の現状、一開業医の視点から

栗村 恭子（Bellevue Pediatric Dentistry & Orthodontics）

3）小児科から見た小児歯科の価値とこれからの対応—保健検討委員会の経験を基にして—

前川 喜平（東京慈恵会医科大学名誉教授）

4）生と死のケア—小児歯科にとってのグリーンケア—

武田 康男（北九州市立総合療育センター）

教育講演：日本のこれから

藤原 正彦（お茶の水女子大学名誉教授）

シンポジウム（学術委員会企画）：

1）上顎第一大臼歯異所萌出症例から考える咬合誘導

佐藤 厚（さとう子ども歯科医院）

2）子どもの歯並びをキレイにするための生活支援

佐橋喜志夫（さばし矯正小児歯科）

3）小手術を併用した咬合誘導

山崎 要一（鹿児島大学大学院教授）

認定歯科衛生士研修セミナー：

歯科診療室で行う子どもたちへの食支援～歯科衛生士といっしょに始める楽しい食事の支援～

弘中 祥司（昭和大学准教授）

白田千代子（東京医科歯科大学講師）

コデンタルテーブルセミナー：

1）Dental Hygienist から Oral Health Manager へ～チーム医療の担い手として～

天野 秀昭（広島大学大学院教授）

2）子どもたちと一緒に育む歯科衛生士

～子どもと共に経験する豊かな情報発信力で歯科衛生士力アップをめざして～

川端 順子（カノミ矯正・小児歯科クリニック）

ランチョンセミナー：

1）食生活習慣から考える歯科疾患

北迫 勇一（東京医科歯科大学大学院助教）

2）PRG 技術を応用したバイオアクティブ材料（GIOMER）の特徴と新しい蝕予防法の提案

福本 敏（東北大学大学院教授）

参加費：歯科医師 9,000円（当日10,000円） 歯科衛生士、その他 5,000円（6,000円）

事前登録は10月25日15：00まで

連絡先：財団法人口腔保健協会コンベンション事業部内 第49回日本小児歯科学会大会事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 TEL：03-3947-8761 FAX：03-3947-8873

第29回北日本地方会大会および総会

会 期：平成23年10月29日（土）

会 場：北海道歯科医師会館 〒060-0031 札幌市中央区北1条東9丁目11番地
TEL：011-231-0945 FAX：011-271-7514

大会長：庄内喜久子 準備委員長：岩寺 環司

大会内容：1. 特別講演 「根管治療の現状と可能性」

北海道大学大学院歯学研究科口腔機能学講座

小児・障害者歯科学教室 教授 八若 保孝 先生

2. 市民公開講座 「思う力が現実になる」 鳩山 幸 氏

3. 一般講演

4. 専門医、認定医更新 展示発表

5. 専門医セミナー

6. 総 会

7. 会員懇親会

連絡先：〒061-0061 札幌市西区西町北20-2-12 SR 宮の沢メディカルⅡビル
庄内こどもの歯科 庄内喜久子 TEL：011-663-6874 FAX：011-665-7068

第26回日本小児歯科学会関東地方会大会・総会

会 期：平成23年10月16日（日） AM9：30より

会 場：ホテルニューオータニ幕張 千葉県千葉市美浜区ひび野2-120-3

大会長：鏡 宣昭 準備委員長：谷 博司

協 賛：千葉県小児科医会、千葉県小児歯科医会、東京臨床小児歯科研究、千葉県歯科医師会

大会内容：1. 特別講演 「小児医療の連携と地域活動」

千葉県小児科医会会長 西牟田敏之 先生

2. ワークショップ

1) 乳幼児健診活動

2) 乳幼児支援活動と地域連携

3) 学校歯科保健活動

3. 歯科衛生士セミナー

4. 特別企画「若き研究者の集い」

[関東9歯科大学の若き研究者たちのプレゼンテーション]

5. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医更新用ケースプレゼンテーション

6. 商業展示：

7. 懇 親 会：

連絡先：第26回日本小児歯科学会 関東地方会大会 準備委員会事務局
〒273-0035 千葉県船橋市本中山2-21-3 たに歯科医院 谷 博司
Fax：047-335-4430 E-mail：tani@mse.biglobe.ne.jp

第30回日本小児歯科学会中部地方会記念大会および総会

テ ー マ：子どもたちの未来のために ―小児歯科医のできること―

会 期：[大会および総会] 平成23年10月23日（日）9：30～16：00（受付開始9：00）
[懇親会] 平成23年10月22日（土）19：00

会 場：[大会および総会] 愛知学院大学楠元学舎 〒464-8650 名古屋市千種区楠元町 1-100
[懇親会] メルパルク NAGOYA 〒461-0004 名古屋市東区葵町 3-16-16

大会長：佐々 公人 準備委員長：小山 雅弘

大会内容：1. 特別講演

『成長発育期での咬合の改善と機能回復が健全な顎顔面骨格育成の Key Factors』

歯科矯正 近藤デンタルクリニック（東京都世田谷区開業）

近藤 悦子 先生

2. 教育講演

講演 1 『地域と診療室での咬合育成の取り組み』

ありた小児矯正歯科（長崎県長崎市開業） 有田 信一 先生

講演 2 『小児歯科臨床における主訴になりにくい異常とその対応』

さとう子ども歯科医院（愛知県蒲郡市開業） 佐藤 厚 先生

講演 3 『フッ化物応用が普及する時代を迎えて 歯科医師は…』

朝日大学歯学部口腔感染医療学講座 社会口腔保健学分野 教授

磯崎 篤則 先生

講演 4 『妊娠期から始めるむし歯菌感染予防？キシリトールの応用？』

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 行動小児歯科学分野 助教

仲井 雪絵 先生

3. ポスター発表

4. 認定医・専門医資格更新用ケースプレゼンテーション

5. 業者展示

6. 総 会

7. 懇 親 会

連絡先：〒463-0062 愛知県名古屋市守山区長栄13-10 ひょうたん山矯正小児歯科

TEL：052-262-5070 FAX：052-262-5084 E-mail：jspd1023@secretariat.ne.jp

第30回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会 第29回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会

メインテーマ：未来を担う子どもたちの笑顔のために

会 期：平成23年10月9日（日）9時～10月10日（月）13時

会 場：九州歯科大学講堂ならびに本館 北九州市小倉北区真鶴2-6-1

大会長：大野 秀夫、奥 猛志

企画内容：1. 合同企画：小児歯科の未来への提言 ～これからの小児歯科医療政策を考える～

基 調 講 演：櫻井 充 財務副大臣

シンポジスト1：大久保潔重 参議院議員

シンポジスト2：西村まさみ 参議院議員

シンポジスト3：犬塚 勝昭 日本歯科医師連盟評議員

コーディネーター：品川 光春 日本小児歯科学会常務理事

2. 中四国地方会企画

新任教授セミナー：

(1) 小児歯科における外科的処置のポイント

尾崎 正雄 教授（福岡歯科大学）

(2) 小児歯科医としての埋伏歯症例へのアプローチ

仲野 道代 教授（岡山大学）

ミニセミナー：(抄録集に事前申込み用紙を同封予定)

(1) 安心安全な医療を阻害するコミュニケーションって何だ！

- 木尾 哲朗 先生 (九州歯科大学)
- (2) 日常臨床における CT, MRI の活用法
田中 達朗 先生 (九州歯科大学)
- (3) 小児期の機能的顎偏位症例に対する咬合管理
小川 晴也 先生 (広島県福山市)
- (4) 健全な永久歯列の獲得を目指して
ー私の考える永久歯の萌出障害と埋伏への対応ー
一瀬 智生 先生 (広島県広島市)
- (5) 医院がチームとして機能する時
ースタッフマネジメントと院長のセルフマネジメントー
宮川 尚之 先生 (鹿児島県霧島市)
- (6) 国際小児歯科保健協力
ーネパールでの経験からー
中村 修一 先生 (ネパール歯科医療協力会)

コデンタル企画：(抄録集に事前申込み用紙を同封予定)

- カラーイラストを使って啓発グッズを作ろう
ー自分の作品を脚本からパソコンで作成ー

展示発表：一般演題ならびに専門医・認定医更新発表

3. 九州地方会企画

シンポジウム：子どもの事故と小児歯科

- (1) 小児の事故防止に向けての工学的アプローチ安全知識循環型社会をめざして
西田 佳史 先生 (産業技術総合研究所)
- (2) 外傷部位データベースの構築 ー虐待発見への応用をめざしてー
日高 聖 先生 (長崎大学)
- (3) 小児口腔外傷の処置について
春木 隆伸 先生 (兵庫県明石市)

特別講演：「幼小児期における口腔機能障害の診断と矯正治療について」

吉野 成史 先生 (東京都府中市)

コデンタルセミナー：

- 「自閉症スペクトラム児者への医療支援 ー障害特性に寄り添う工夫ー」
高原 牧 先生 (京都府亀岡市)

展示発表：一般演題ならびに専門医・認定医更新発表

- 大会日程：(予定) [10月9日] 9:00 開会式・中四国総会
10:00 新任教授セミナー・ミニセミナー・コデンタル企画
13:00 中四国 展示発表質疑応答
14:00 合同企画 「小児歯科の未来への提言」
18:00 合同懇親会
- [10月10日] 8:30 九州総会
9:00 シンポジウム 「子どもの事故と小児歯科」
10:30 特別講演・コデンタルセミナー
12:00 九州 展示発表質疑応答
13:00 閉会式

懇親会：1日目18時より、ホテルクラウンパレス小倉 (北九州市小倉北区馬借1-2-1, TEL 093-511-4111) にて開催します。

会費：5,000円 (予定)

参加登録：初日に2地方会分を受付

歯科医師：10,000円 歯科衛生士・その他：4,000円 (1地方会分のみ場合は半額)

《日本小児歯科学会近畿地方会》

平成23年度役員名簿

会 長	松尾 博之				
副会長	佐伯 克彦	・	樂木 正実		
会 計	大西 智之				
庶 務	春木 隆伸				
総 務	岡本 篤剛				
監 事	梶本祐一郎	・	野々村栄二		
名誉顧問	祖父江鎮雄	・	大東 道治		
顧 問	大嶋 隆	・	嘉ノ海龍三		
幹 事	池尾元三朗	・	池本 博之	・	石井 信行
	嘉藤 幹夫	・	大橋 健治	・	川口 護
	金尾 好章	・	金尾 晃	・	大原 裕
	笹井 浩司	・	佐々木秀和	・	大橋 健治
	永井るみこ	・	仲川 憲幸	・	亀井有太郎
	中川 佳昭	・	野村 良太	・	乗原 康生
					徳永順一郎
					仲野 和彦
					中村 弘之
					人見 晃司
					人見さよ子

(順不同)

日本小児歯科学会近畿地方会 HP
<http://square.umin.ac.jp/jspd/>

今回、会報発行にお手伝い頂いた方々

佐伯克彦先生・大嶋 隆先生

大西智之先生・仲野和彦先生

口腔保健協会 田辺様・春木隆伸

＜お知らせ＞

住所、氏名変更は地方会事務局では取り扱っておりません。

必ず口腔保健協会（〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 TEL：03-3947-8981(代)）へお願いします。

平成23年9月22日 印刷

平成23年9月22日 発行

発行者 松尾 博之

発行所 日本小児歯科学会近畿地方会

印刷所 日昌印刷（株）

会報編集委員会

〒572-0837 大阪府寝屋川市早子町3-45

まつお矯正小児歯科

●編集後記

3.11 未曾有の大震災、地震の規模は私の経験した阪神淡路大震災の約1500倍。その直後の大津波と原発事故。そんな中、国民を引っ張っていかねばならない政府が、混乱、混迷を極め、国民の多くが政治家を信じなくなった。政治家は本当に国民の幸せを考えているのだろうか。日本の未来について考えているのであろうか。子どもを産んで育てる環境が、今の日本は悪すぎる。長年の保育所児童待機問題、出来てすぐ無くなる子ども手当、日本には一貫した政策が全くない。フランスでは出生率が2.02人と2人を超えた。年金問題、医療費問題、労働力不足ひいては日本の聚落、全ては日本の子どもや子育て世代を大切にする政策を政治家が責任もってやっていかないと、増税や歳出カットだけでは何も解決しない。小児歯科医として、子どもと毎日向かい合い接している我々も、日本の未来を輝くものにしていくために、黙って成り行きに任せるだけでなく、そろそろ声をあげて子どもたちのために枠を超えて何かをしていかねばならない時が来たのではないのでしょうか。